

ぷにっこマンモ

～ゆるく触診☆キャンサーチェック～



日本人女性に急増している「乳がん」。AYA世代からのがん教育で早期発見・早期治療、健康・長寿を目指します。現在普及している「乳がん触診体験用モデル」は、公共の場所に設置されていたり、見た目が非常にリアルなこともあり「触るのが恥ずかしい・体験しづらい」という短所があります。誰もが気軽に「ブレスト・アウェアネス」できるよう探究しゆるくかわいい触診体験モデル「ぷにっこマンモ」を考案しました。セルフチェックで健康を意識した生活を！

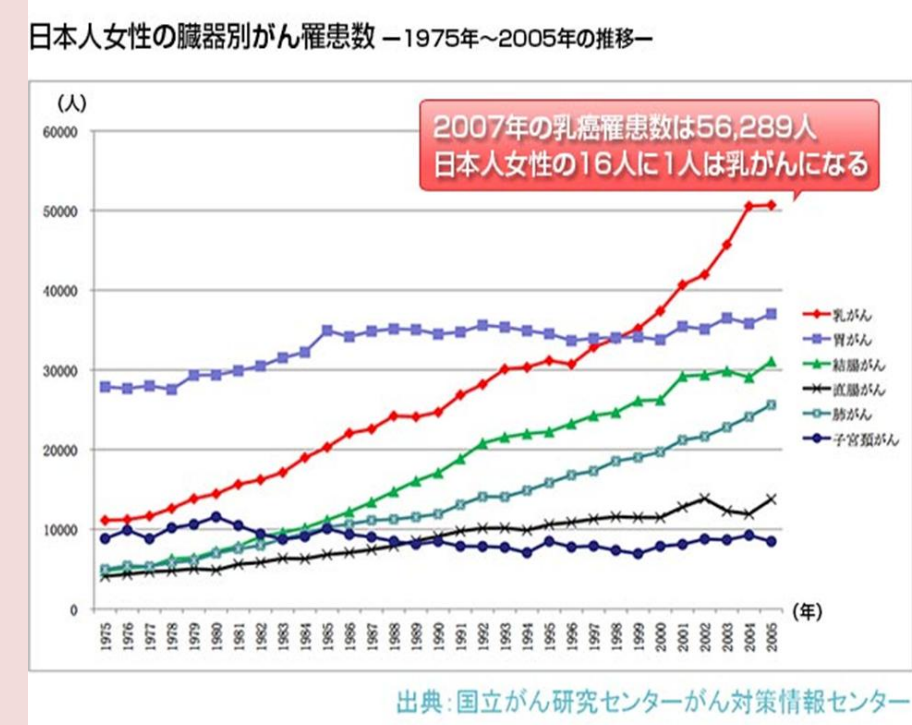
AYA世代の乳がん 早期発見・早期治療を

活動の目的・背景

1998年から女性の部位別がん最多を記録し、現在も増え続けている「乳がん」。私たちの属するAYA世代にも「若年性乳がん」罹患の危険性が増えています。私たちのまち福井県大野には産婦人科の医院が一軒のみ。市内の病院で分娩や乳がん検診ができず女性の医療アクセスに制限があります。そこで「セルフチェックで健康長寿」策を考案しました。ぷにっこマンモで、若者のがん教育啓発と、ゆるく気軽にできる触診体験モデルを提案します。



乳がんを知ろう

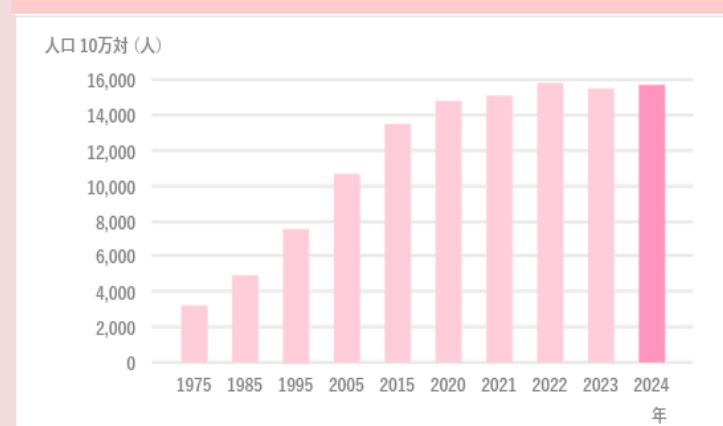


日本では...

2007年 **16人に1人**

2020年 **11人に1人**

2024年 **9人に1人罹患**

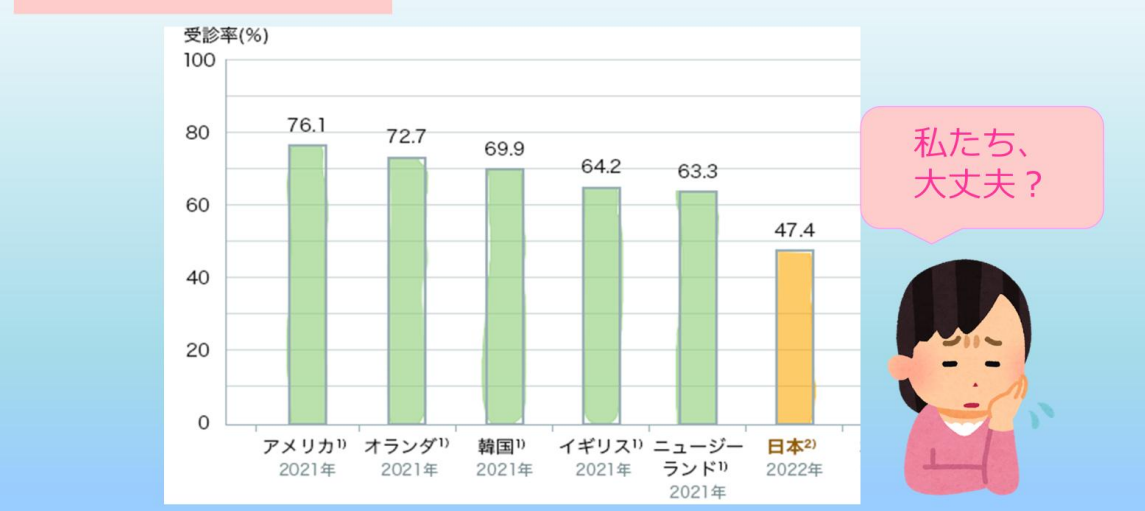


ブレストチェック
しよう!

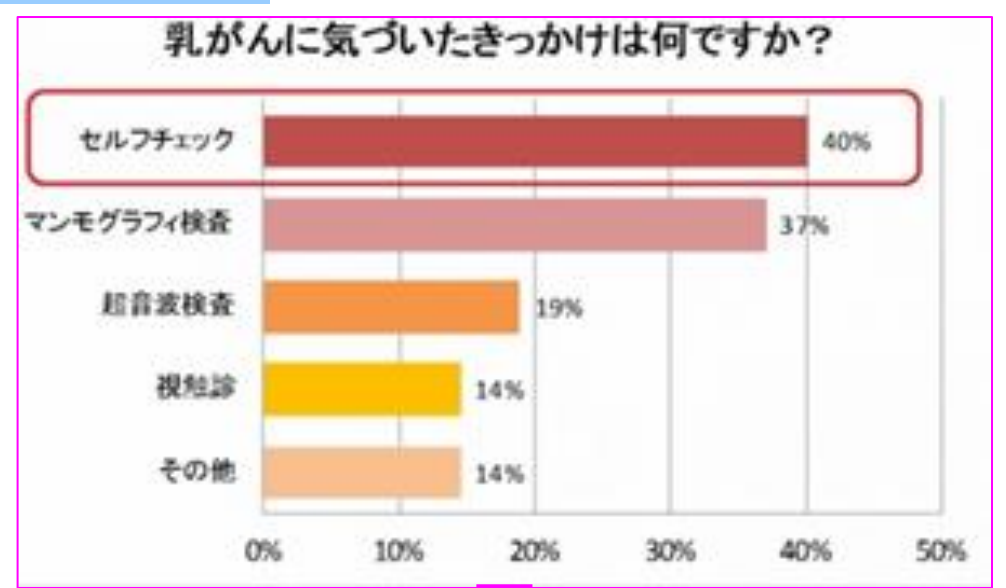


活動実績

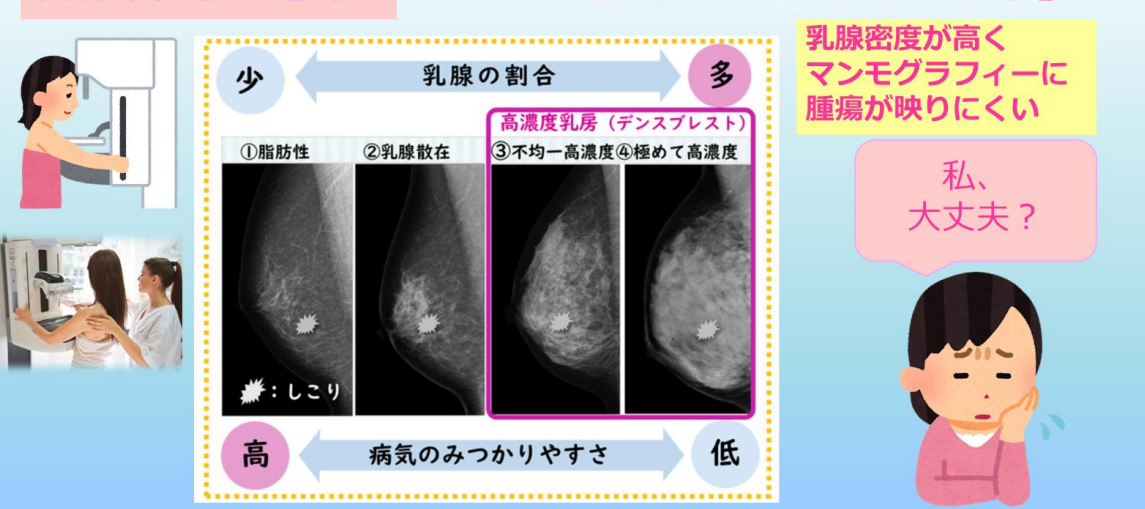
乳がんを知ろう ～先進国の乳がん検診受診率～



- ・先進国の乳がん検診の受診率を見ると日本は47.4%と半分を下回っています。
- ・マンモグラフィ（検査機器）のX線写真の映り方を見ると、日本人女性には「デンスブレスト」という白く映る乳腺が目立つ人が多く、患部が隠れてしまい、発見されにくいです。



乳がんを知ろう ～日本女性に多い「デンスブレスト」～



しかし、「乳がん」に罹患した方の半数以上は「自分でブレストチェック」をして、がん気づいています。私たち世代がやるべきことは「セルフ・チェック」です。ブレスト・アウェアネス、とって自分の体を見て触って「しこりやひきつれ、おかしいところはないか?」と毎月しっかり確認することです。

私たちは、がん教育のための「触診体験モデル」に注目しました。現在「保険の相談窓口」等で展示され体験に使われている「リアルな乳房の色や形の模型」は若者にとっては「触ってみる」という心理的ハードルが高いです。これをデザインを抽象化し安く買えるゆるくかわいいモデルに置き換えてはどうか、と考案ぷにっこマンモを考案しました。

NPO法人乳房健康研究会さん 監修
エピテーゼサロン綴さん(金沢市) 試作ご協力

今後の展望 ～普及・啓発へ～

従来型モデルから「ぷにっこマンモ」へ

がん教育 触診体験 早期発見

人前で触りにくいかも...

若者が「さわってみたくなる?」

ゆるキャラ どうぶつ モデル

パン 中華まん 食べ物 モデル

パートナーと一緒に触診体験 健康・長寿を意識した生活を

SDGs QUEST みらい甲子園
北陸エリア大会優勝・6月全国大会へ



実装化に向けて展開中

